

SEIKEI Vision 150

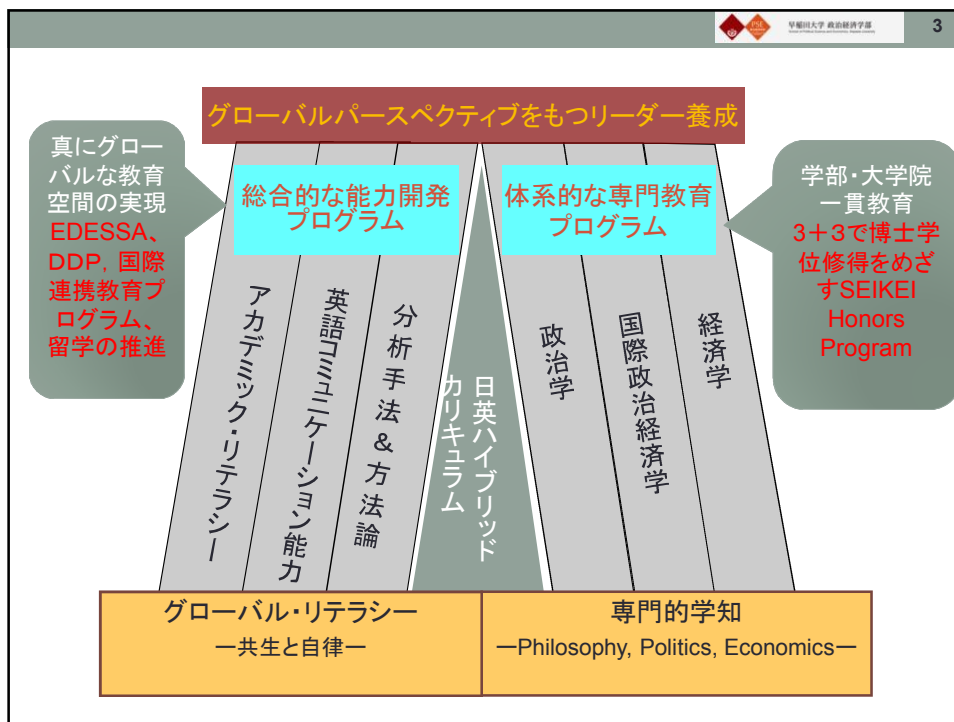
グローバル・パースペクティブをもつリーダー養成

共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の追究の中から、在野の精神に立ってグローバル社会の未来を切り開く自律的な次世代を創出する。

早稲田大学 政治経済学術院

グローバル・パースペクティブをもつ リーダー養成

- ・ “Philosophy, Politics and Economics”(PPE)を理念とした
学部・大学院における一貫した教育・研究
- ・ グローバル・リテラシーと政治学および経済学を核とする体系的な
専門的知識の修得
- ・ グローバル・パースペクティブをもつ職業人ならびに研究者として、
地域社会から国際社会まで、様々な分野の多様な組織において活
躍するグローバル・リーダーの養成



早稲田大学 政治経済学部 4

日英両言語による ハイブリッド型教育体系

SEIKEI Vision 150, part I


早稲田大学 政治経済学術院
School of Political Science and Economics, Seikei University

5

- ・ 学術院におけるすべての学位プログラムが日英両言語によるハイブリッド型となる。
- ・ 学生は、国籍や初中等教育歴に関係なく、言語能力等に基づき最も適切な入試を経て入学し、日本語および英語を駆使して学修に取り組む。
- ・ 主たる教育言語を日本語とする学生と英語とする学生の比率は2:1となる。
- ・ 多くの学生が在学中に海外留学を経験する。
- ・ グローバル・パースペクティブをもつリーダーを養成し、共生の次世代を創出する。

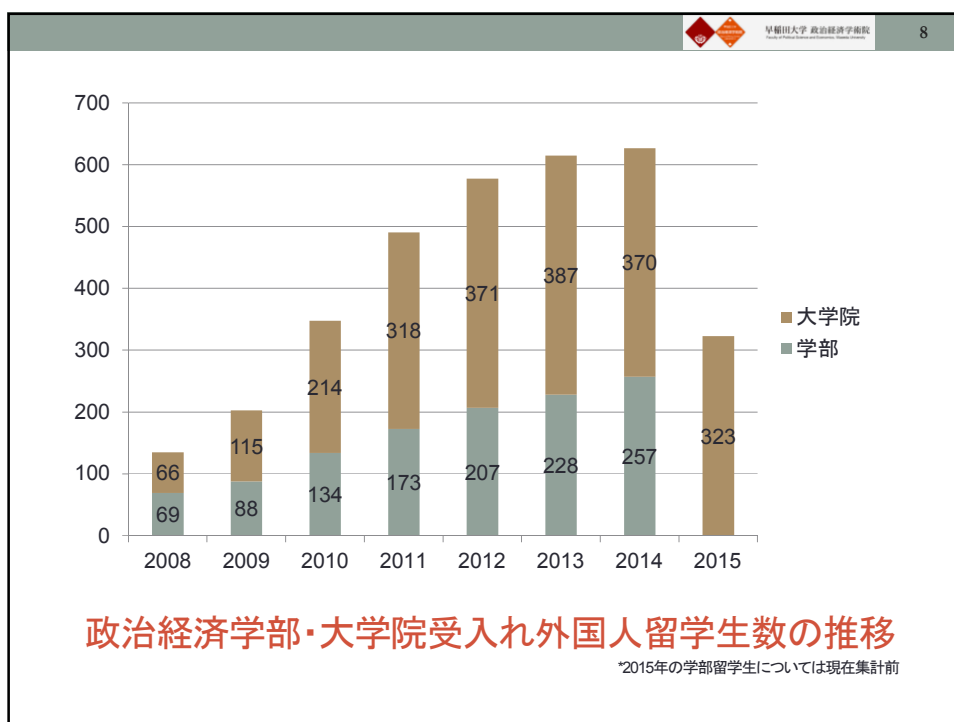
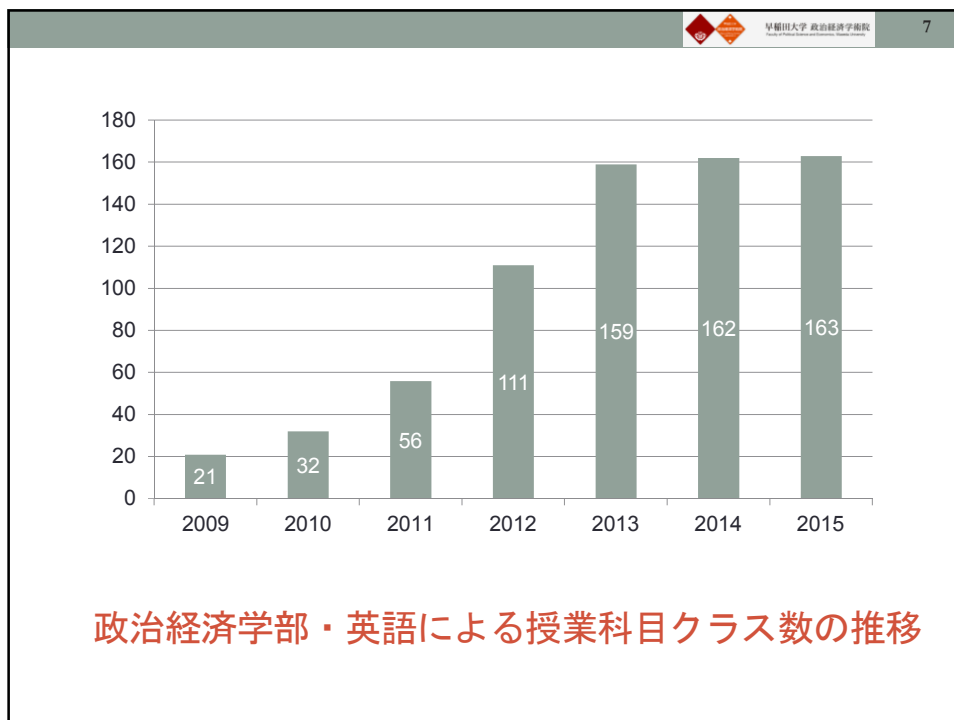
SEIKEI Vision 150, Part I
 日英両語によるハイブリッド型教育体系《Vision》

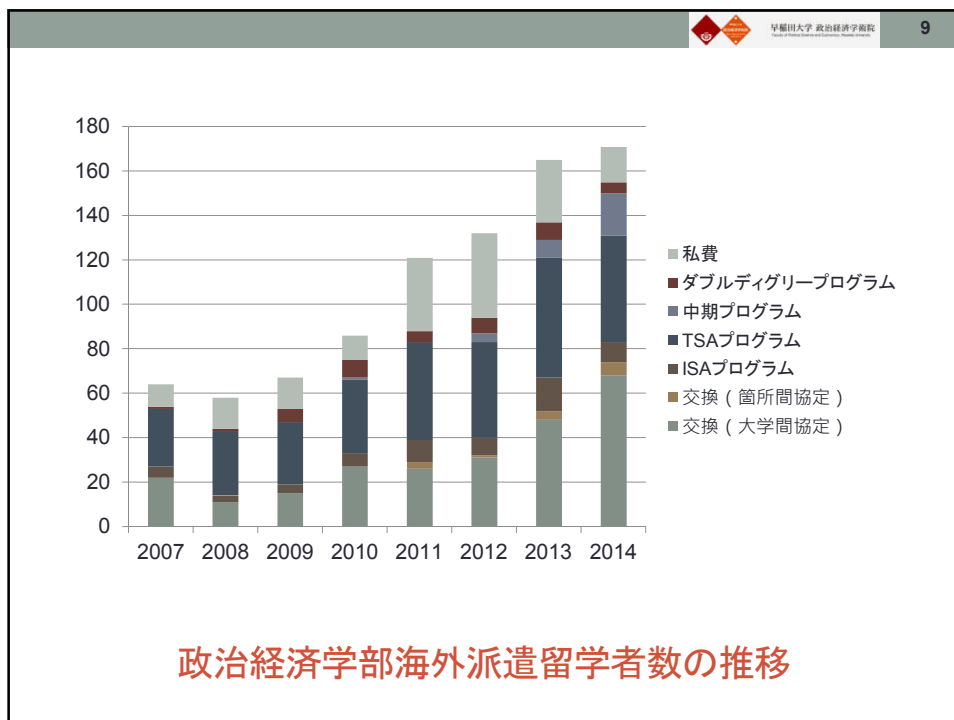

早稲田大学 政治経済学術院
School of Political Science and Economics, Seikei University

6

SEIKEI Vision 150, Part I 日英両語によるハイブリッド型教育体系
 《重点的取り組み》

- EDESSA(English-based Degree Studies September Admission) の拡大
 - ・ → EDESSAの拡大計画の前倒し達成→2016年度(100名)を2015年度で達成予定
 - ・ EDESSAプログラム専任教員の採用
 - ・ → 6名枠の任期のない専任化の推進(2015-16年度予定)
 - 専任枠を8名に拡大(2015-16年度)予定
- 国籍を問わず、気概と知的能力においてグローバル・リーダーを目指すにふさわしい優秀な学生を確保することを目指す入試改革
 - グローバル入試実施(TOEFL、国際バカロレア利用、AO型総合選抜を改革)
- 附属・系属校との連携による学部進学者の英語力等の向上
 - 高大連携プログラム実施、TOEFL目標スコア設定
- 教育におけるグローバル・コラボレーションの積極的展開
 - DDP拡大、サマースクール実施、日本-アジアの政治経済学教育プログラムによる連携
- 英語授業科目の履修によるグローバルな教育の体験、留学準備
 - 留学準備のためのアカデミック・リテラシー演習
- 日本人学生の1年次集中英語学習の導入計画
 - TOEFL、能力別クラス、チュートリアル、独自統一教科書による教育の徹底と質的高度化





早稲田大学 政治経済学部
Ritsumeikan University Faculty of Political Science and Economics

10

自学自修を促す教育の展開

SEIKEI Vision 150, part II



- ・「ゼミ」という政経に伝統的教育方法を最大限活かし、入学時の必修の基礎演習から専門の演習を通じた卒業論文まで、少人数教育を徹底し、参加しながら共に学び合うことを通じて、人間形成と知的能力の自己開発を促す。
- ・あらゆる授業において、学生のアクティブな参加と活動の機会を開き、そうした多様な学修活動を学生自身がポートフォリオに記録し、自ら課題を見出し解決することにより、社会的貢献を目指す自律的で能動的な主体を育てる。

SEIKEI Vision 150, Part II

自学自修を促す教育の展開《Vision》



SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(1)》

- 人間形成と知的能力の自己開発を促す少人数でアクティブな教育
 - 新3号館モデル教室とアクティブな教育授業プラン
- 入学から卒業まで、1クラス15人以下の「ゼミ」の全員履修
 - 入学から卒業まで履修可能な演習クラスの充実
 - ・ 演習1クラス15名以下への制限による充実化
- 講義科目にディスカッション・セッションを導入するとともに、
 - ・ 徹底した学習支援体制を構築
 - 講義科目を補完するセッションの拡充による学習支援体制の充実
 - ・ 「政治分析入門」(講義＋ディスカッション・セッション; 2014年度より)
 - ・ 「ミクロ経済学入門」および「マクロ経済学入門」
 - ・ (講義＋問題演習セッション; 2015年度より)
 - ・ 「政経・数学支援室」
 - ・ (週2回、基礎的な数学の自習の支援; 問題配布、質問受け付け; 2015年度より)
 - ・ 「ミクロ経済学A」「マクロ経済学A」(隔週、問題演習クラス; 2015年度より)
 - ・ 学生の集中的な授業履修
 - セメスター制の完全実施、クォータ制によるグローバル化対応を可能に


早稲田大学 政治経済学術院
RIKUGOIN UNIVERSITY OF POLITICS AND ECONOMICS

13

SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(2)》

- あらゆる学問とキャリアの基礎となる方法論教育の重視
 - 3学科共通の分析手法・数学カリキュラム構築
- インターンシップや寄付講座など、キャリアデザイン力を身に付けることのできる実践的な教育の充実
 - キャリアデザイン・ワークショップ、寄附・提携・協力講座、総合講座（稲門政経会協力）、学外連携講演会シリーズ、卒業生との連携を強化
- 学生自身の多様な努力と成長の過程の自己確認と自己アピールのためのポートフォリオのシステム構築
- 教育内容、評価基準、科目別成績評価割合等の公開


早稲田大学 政治経済学術院
RIKUGOIN UNIVERSITY OF POLITICS AND ECONOMICS

14

SEIKEI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(3)》

- 2014年度学部カリキュラム改革(基本方針)
 - ①セメスター化の徹底
 - ②1学期の履修単位数の削減による予習・復習時間の拡大
 - ③基礎教育の学部一体的運営、コースナンバー化による大学院との一体的運営
 - ④外国語教育のさらなる充実(GECとの連携)
 - ⑤基礎的科目中心に提供、英語授業科目はさらなる多様化。全体としての設置科目数の減少
 - ⑥全教員の全学生に対する教育を可能とする科目配置の適切設定
 - ⑦政治学・経済学必修科目は、講義科目に加えてTAセッションを開講
 - ⑧キャリア教育の一層の充実
 - ⑨副専攻の再編等による法・商との連携強化
- ゼミという日本・早稲田・政経に特有の教育方法を最大限活かし、1年次から4年次まで、少人数による指導を徹底することで、知的能力の最大限の向上を図る。
 - ①基礎演習の必修化(1年次春学期) →学術的文章の作成、ゼミ、演習論文作成で4単位付与。18名定員。
 - ②アカデミックリテラシー演習(1年次秋学期～2年次秋学期) →涵養されるべき能力にフォーカスした6つのカテゴリー。半期2単位。15名定員。
 - ③専門演習(3年次春学期～4年次秋学期) →政治学、経済学、国際政治学の専門的学知の獲得と活用。15名定員。
 - ④学際領域演習(3年次春学期～4年次秋学期) →共生と自律のためのグローバルリテラシーの獲得と活用。15名定員。
 - ⑤ジャーナリズム・メディア演習 →プロフェッショナル・スタディーズに基づく実践知の獲得と活用。15名定員。
- * ③⑤のブレ演習を2年次秋学期に設定可とする。演習論文(4単位)を別途付与。
- * ②～④で演習科目群を設定し、8単位を義務付ける。

グローバル科目—共生と自律のために	
導入科目	基礎演習(必修)、学術的文書の作成、基礎演習論文
分析手法・数学科目	統計、ゲーム理論、リサーチデザイン、数学
外国語	英語、その他外国語
アカデミックリテラシー演習	コミュニケーション能力を磨く ライティングとプレゼンテーションの能力を磨く 分析と批判的思考の能力を磨く グローバル・パースペクティブを養う 古典を読む プロジェクトを企画する
グローバルリテラシー	自然と生命(科学技術論、生命科学、地球科学 etc.) 人間と社会(ジェンダー論、多文化共生論 etc.) 歴史と文化(グローバル史、東洋思想、芸術論 etc.)
キャリアデザイン	寄附講座・提携講座、キャリアデザイン・ワークショップ
演習	学際領域演習 ジャーナリズム・メディア演習


早稲田大学 政治経済学術院

大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム

SEIKEI Vision 150, part III

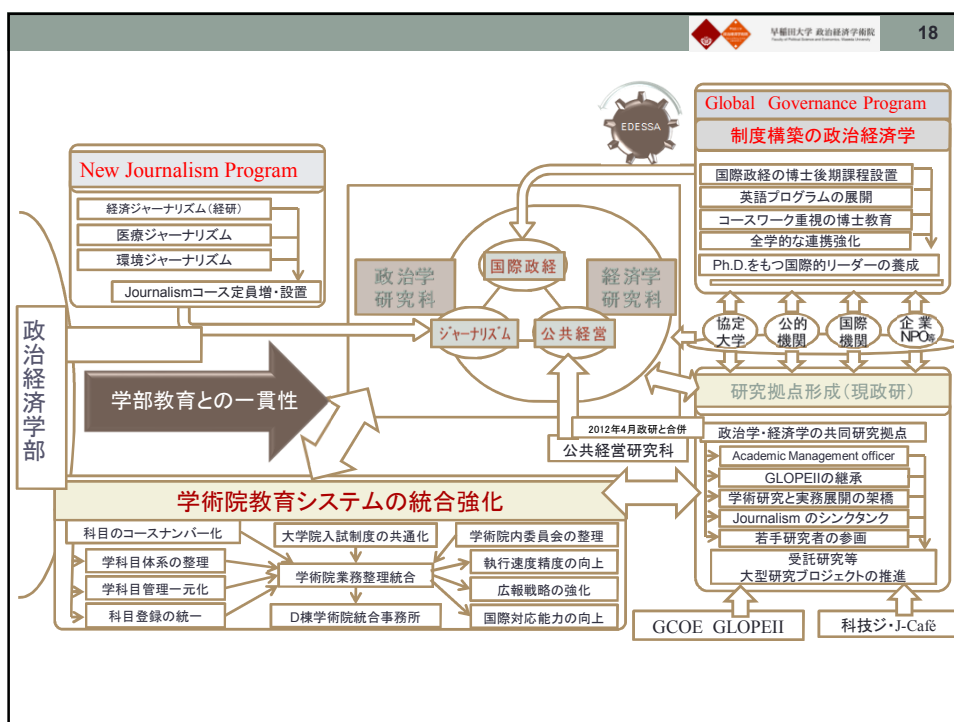
16

- 政治経済学部と大学院の一体的教育体系を整備し、学部卒業生の20%以上が、より付加価値の高い専門教育を求めて大学院に進学。
- 政治学研究科と経済学研究科の一体的組織運営のもと、体系的な研究者養成および高度専門職業人育成。
- コースワークを主とする博士5年一貫プログラムへの進学者、学部入学から6年間で博士号を取得する学生を多数養成。

SEIKEI Vision 150, Part III

大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《Vision》

17





SEIKI Vision 150, Part III 大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《重点的取り組み》

➤ 政経オナーズ・プログラム

→2015年度より学生の応募があり、実際にスタート

将来的には、研究プロジェクトへの早期参加を促す

➤ 実証政治経済学の拠点形成

→SGUIにおける実証政治経済学の拠点形成と学内他箇所との研究協力体制の構築

➤ 高度人材育成プログラムの展開

→公共経営専攻(政研)、ジャーナリズム・コース(政研)、

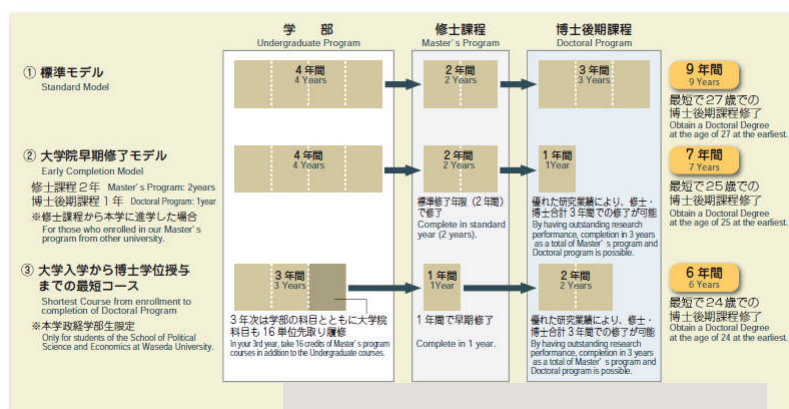
EAP(Empirical Analysis Program; 経研)による、高度職業人養成プログラムの充実

➤ 大学院における方法論教育の整備

→高度職業人も含めた実証分析を中心とした分析手法教育の拡充

■ 研究者への近道

Roadmaps for Researcher



5年一貫博士教育

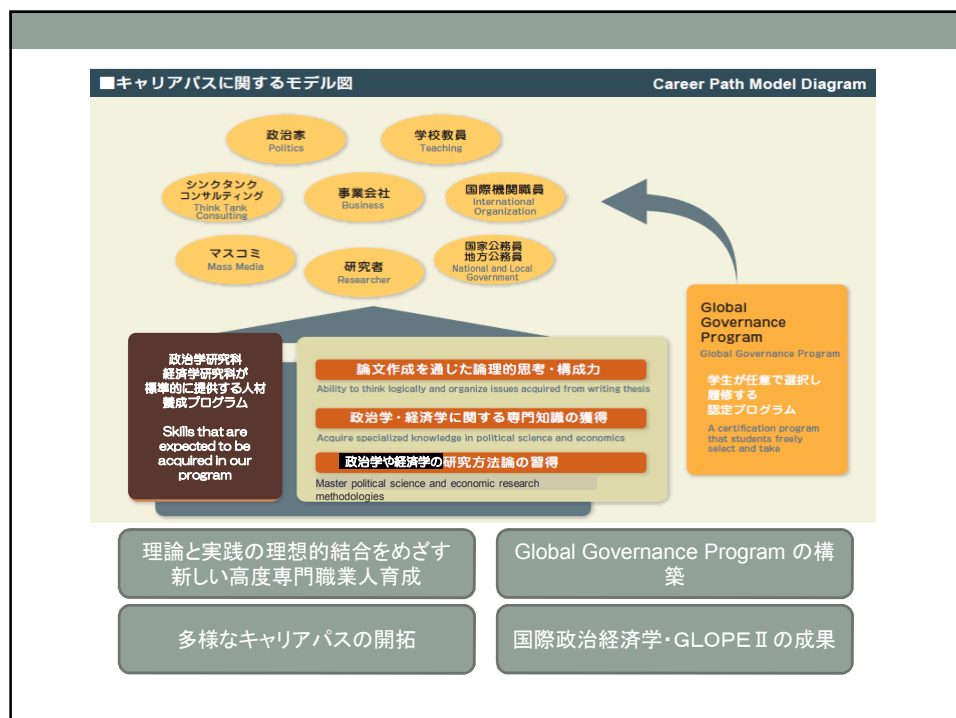
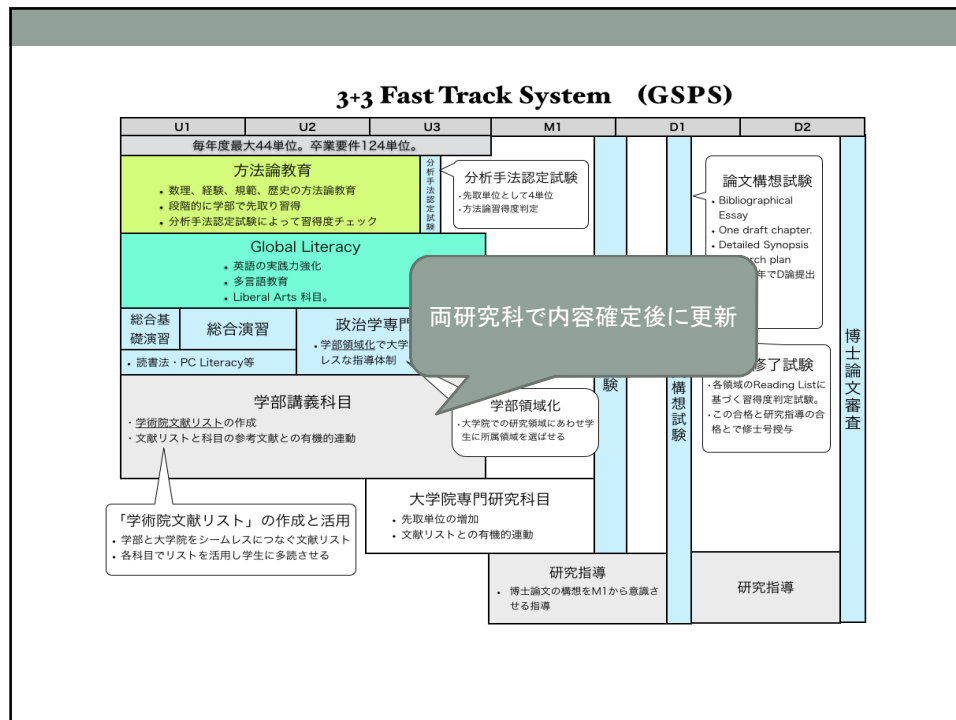
大学入学後6年で博士学位をめざすオナーズプログラム

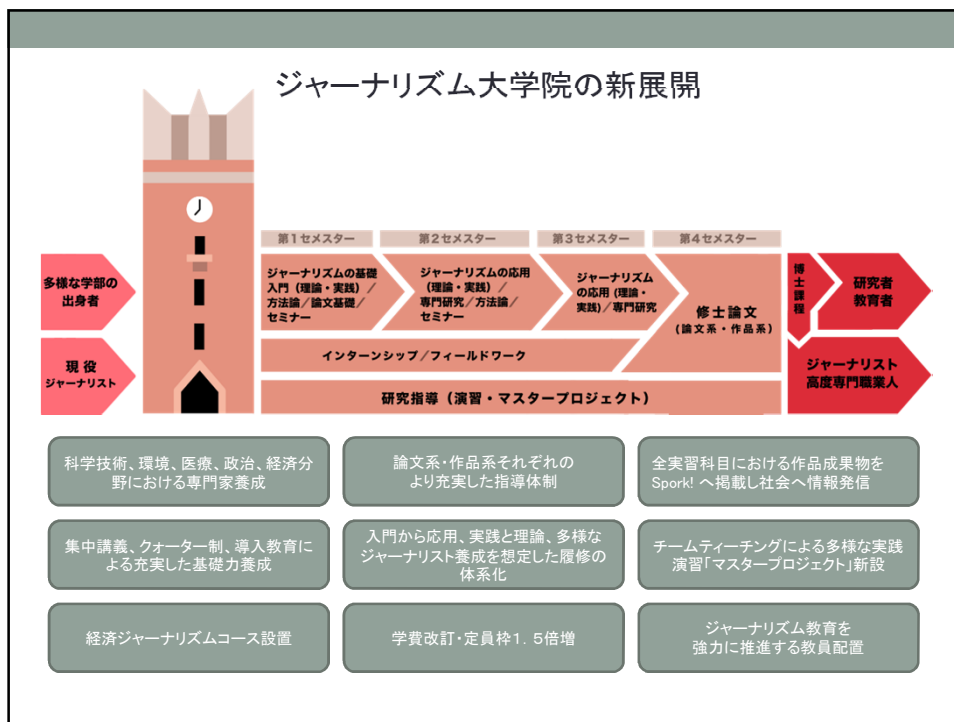
研究倫理教育の徹底と論文審査の一層の厳格化

コースワーク、クォーター制を活用したプログラムの構築

期間短縮カリキュラムにおけるフォローアップの充実

指導・審査プロセスの透明化






 早稲田大学 政治経済学術院
 Waseda University Faculty of Political Science and Economics

24

卓越した知の共同体の構築

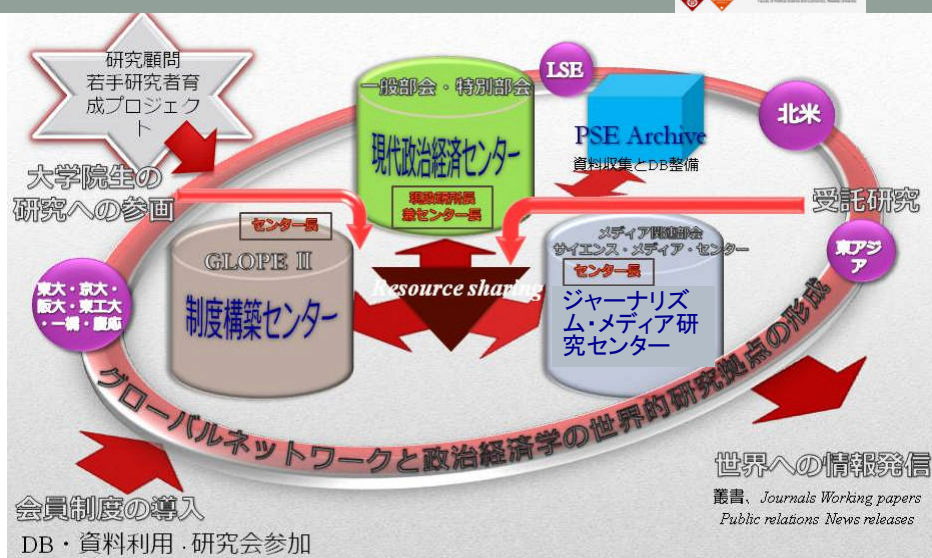
SEIKEI Vision 150, part IV



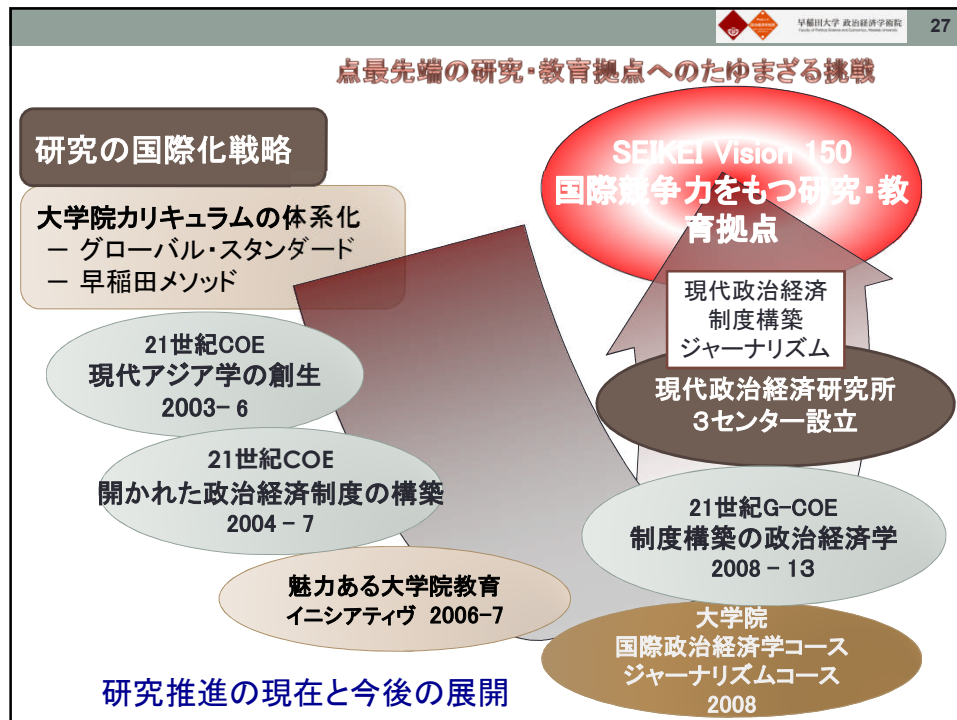
- ・現代アジア学を提唱する一方で、新たな政治経済学を構築し、21世紀に期待される地球社会の構想に貢献しようとしてきたCOE、G-COEの成果を定着させ、SGU拠点(実証政治経済学)を発展させる。
- ・期待されるグローバルな共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の探求を、学術院総合力で推進し、学部・大学院におけるグローバル・リーダー育成のための国際的競争力を有する質の高い教育を展開する。
- ・現代政治経済研究所を中核として、アジアから世界へ発信する研究拠点を構築する。

SEIKEI Vision 150, Part IV

卓越した知の共同体の構築《Vision》



早稲田大学現代政治経済研究所の再構築(2013年度)



早稲田大学 政治経済学専攻 28

SEIKEI Vision 150, Part IV 卓越した知の共同体の構築
 ≪重点的取り組み≫

- Waseda Institute of Political Economy (WINPEC)再編
 - 現代政治経済研究センター、制度構築センター、ジャーナリズム・メディア研究センター
- 研究部会の活性化
 - 外部研究資金申請を義務化、科研費実績の向上; WINPECセミナー、院生ランチタイム・セミナー、特別部会、問題解決型プロジェクト、国際的若手研究者育成プログラム
- 政治学経済学を中心とする研究者の全学的連携の実現
- 世界的研究拠点形成のために、研究に関するグローバル・ネットワークを構築
- 高い国際的評価獲得のため、研究成果の国際的発信力強化
- 会員制による定期的な公開講座など、研究成果の恒常的社会還元

